

小論文の書き方 ～手順とパターン～

1 超重要(一番大切なこと)

- 聞かれていること(テーマ)と論点がずれないように注意！(これがものすごく多い)
- 難しい言葉や表現は不要！問いに整然と分かりやすく、正しい文字・文法で書ければOK！
 - ・ 短いセンテンスで、同じ内容の重複やあいまいな表現(何が言いたい?)を避ける。
- 知識(テーマごとのポイント)や物事に対する考え方のパターンを身につけておく。

2 構成を決める(書き始める前の手順=メモづくり)

※ 以下を簡単に「メモ」し、小論文の構成を決める

1 課題文の「テーマを読み取る」=「要約する」

- 出題者が「何をテーマに」、「何を聞こうとしているか」を的確かつ端的に把握する
 - ・ テーマ(言葉)のポイント「意義」と「問題点」をつかむ
 - ※ 「○○と△△について」など、テーマに2つの言葉がある場合、それぞれのポイントと2つの言葉の関係をつかむ(「いい関係」と「悪い関係」)

■ 課題文『要約』のポイント ■

* きちんと手順を踏んで課題文を要約し、時間を有効に使う。

- ① まず、「問題文に限定が付いていないか」に注意する。
 - ・ 「作者の考えをまとめなさい」「～について要約しなさい」といった限定
⇒ これを外せば得点にならない。限定は、要約のヒントでもある。
- ② 重要語句や接続詞をチェックしながら、丁寧に(イメージして)読む
 - ・ 重要語句にアンダーライン(単語や語句程度)をひきながら読む。
- ③ 段落ごとに要約を作ってみる(メモの段階では超簡単に!)
 - ・ 段落ごとに一文にまとめ、全体をつなげる(5段落以上ある場合)。

2 思いついた考えや事例を箇条書きにする ⇒ 論文全体の構想(展開)をメモで描く

3 2の中から、言いたいこと(結論)を決める

※ 「解決策」や「自分の考え」は、オリジナルでなくていい。賛同することを、別の言葉や例を挙げて言い換えればいい。文中の言葉からの連想が大切

4 結論の妥当性を説明するために必要なパーツ(本論)を決める(探す)

- ・ 4のパーツだけで理論展開できるか整理する(いい例を見つけて伸ばせばいい)

5 4のパーツに自然につながられる導入(序論)を決める

■ ヒント(書き出しにつまったら…) ■

A) 客観的事実で始める

「最近、○○○が増えているというニュースをよく耳にする。○○○が増えるというのは、果たしていいことなのだろうか」 っとな感じ

B) 個人体験で始める

「数か月前、私は○○○で□□が△△△するのを目にした。……△△△するのは、いいのだろうか」 っとな感じ

C) 結論で始める(自分のYes, Noの意見、理由)

「私は、○○の△△△には反対だ。なぜなら……」 っとな感じ

3 論文を推敲する(基本的パターンを身につける)

パターン1

起 ⇒ 承 ⇒ 転 ⇒ 結

- ※ 課題文(資料・データ)がある場合、「起」が要約になるだけ。
- ① 「起」・・・課題文の要約(テーマについての解釈や社会的背景)
 - ② 「承」・・・問題提起+自分の考え
 - ③ 「転」・・・関連する事例を挙げ、自分の考えを説明
別の見方(反対意見)も取り上げ、意見に深み(説得力)を持たせる。
 - ④ 「結」・・・自分の考えを「承」とは別の表現でまとめる

パターン2

序論 ⇒ 本論 ⇒ 結論

- ① 序論(2につながる書き出し+言いたいことの概要)
- ② 本論(言いたいことの根拠となる事例・体験・ニュース)
- ③ 結論(「自分の意見」=「テーマに対する答え」をまとめる)

パターン3

問題提起 ⇒ 意思表示(結論) ⇒ 展開 ⇒ 結論(まとめ)

- ① 問題提起
「〇〇〇の□□は許されるのだろうか」
- ② 意思表示(結論1)
「私は、〇〇〇は△△することは好ましくないと考える。」
- ③ 展開
A 「確かに、〇〇〇は△△であり・・・ではある。しかし、そのことで□□が・・・になることも事実である。」
「では、〇〇〇が△△でなかったらどうだろう。〇〇にとっては大きな影響はないが、□□にとっては・・・である。」
B 「理由は2つある」「ひとつは、□□が・・・になるからだ。確かに、〇〇〇は△△であり・・・ではあるが、そのことが□□を・・・にしてしまう」
「もうひとつは、□□にとっては・・・であるからだ。〇〇〇が△△でなかったとしてもあまり変わりはないが、〇〇にとっては××という大きな影響がある。」

反「もちろん、〇〇〇が△△をするのは・・・だという見方もあるだろう。しかし、果たしてそれが〇〇の・・・と言えるのだろうか。」

④ 結論2(まとめ)

「したがって、〇〇は□□のことを考え△△することは避けるべきだと考える。」

■ ヒント(まとめにまつたら...) ■

※ 具体的な提案などでなく、**何事にも共通する考え方で大きくまとめる**

- ・「この資料を見て、...であることを初めて知った。現状を知り、大切なことは、私たち一人ひとりが自分のこととして考えることだ。それが、改善に向けた第一歩なのだと思う。」
- ・「難しい問題であり、すぐに答えは出ない。だからこそ、この問題から目をそらしてはいけないのだと思う。未来を創るのは私達なのだから。」

◆注意◆ 「聞かれている事」に対する「まとめ」になっているか?を常に頭に置く